



山梨県公立小中学校 教育課程実施状況調査



授業改善 の *Point*

教育課程実施状況調査 小学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
597人	29問	64.9	69.5	-4.6

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土	61.4	61.9	-0.5
	農水	66.5	72.3	-5.8
	工業	68.1	74.1	-6.0
	情報	58.2	62.9	-4.7
	環境	62.1	67.2	-5.1
観点	知識・技能	65.9	70.4	-4.5
	思考・判断・表現	62.3	67.3	-5.0
	主体的に学習に取り組む態度	60.7	63.5	-2.8
解答形式	選択式	63.5	68.2	-4.7
	短答式	68.2	72.8	-4.6
	記述式	67.4	70.8	-3.4

設問別正答率													
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域				問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差
		知	思	態	国 土	農 水	工 業	情 報					
1	選択	◎		◎	◎				世界の中の国土	世界の大陸と主な海洋の理解をもとに、地図を読み取っている。	74.9	75.4	−0.5
2	選択	◎			◎					韓国の国旗と位置について理解している。	74.9	73.6	1.3
3	選択	◎			◎					北方領土の問題について理解している。	70.5	61.7	8.8
4	選択	◎		◎	◎				日本の国土と人々の暮らし	日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに、地図を読み取っている。	40.5	43.6	−3.1
5	選択		◎	◎	◎					日本の気候の特徴に着目して、日本海側の気候の雨温図を判断している。	36.9	41.0	−4.1
6	短答	◎			◎					梅雨について理解している。	71.0	76.1	−5.1
7	選択		◎	◎		◎			日本の農業	都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、適切な地図を判断している。	82.1	79.8	2.3
8	記述		◎	◎		◎			日本の農業	資料に着目して、米づくりの作業時間の変化とその理由を捉え、表現している。	79.7	83.1	−3.4
9	選択	◎				◎			日本の水産業	日本の主な漁港と水揚げ量の資料を読み取っている。	67.2	72.2	−5.0
10	選択	◎				◎				日本の漁業別生産量の変化の資料を読み取っている。	36.2	48.5	−12.3

11	選択	◎				◎					日本の食料生産	食料自給率について、資料を読み取っている。	44.6	55.7	-11.1
12	選択		◎	◎		◎					日本の食料生産	話に着目して、食料輸入の拡大とその問題点について判断している。	76.2	84.0	-7.8
13	選択	◎				◎					日本の食料生産	地産地消の取り組みを理解している。	79.9	82.5	-2.6
14	選択	◎					◎				自動車をつくる工業	自動車工場の作業工程について理解している。	87.8	88.4	-0.6
15	選択	◎					◎				自動車をつくる工業	これからの自動車づくりについて理解している。	86.1	94.3	-8.2
16	短答	◎					◎				自動車をつくる工業	電気自動車について理解している。	87.3	82.6	4.7
17	選択	◎					◎				日本の工業生産	日本の工業生産のさかんな地域について、資料を読み取っている。	56.6	74.4	-17.8
18	短答	◎					◎				日本の工業生産	太平洋ベルトについて理解している。	55.9	67.9	-12.0
19	選択	◎		◎			◎				日本の工業生産	日本の工業生産の変化の理解をもとに、資料を読み取っている。	58.1	58.3	-0.2
20	短答	◎					◎				日本の工業生産	日本の工業生産額のグラフを完成させている。	62.6	65.9	-3.3
21	選択		◎				◎				日本の工業生産	資料に着目して、日本の工場の特徴を考え、判断している。	64.2	74.0	-9.8
22	選択	◎					◎				日本の工業生産	日本の輸出品の資料を読み取っている。	67.5	72.8	-5.3
23	選択	◎					◎				日本の工業生産	日本の貿易の特色について理解している。	61.6	66.5	-4.9
24	選択		◎				◎				日本の工業生産	複数の資料をもとに、日本の輸送について判断している。	61.0	70.1	-9.1
25	短答	◎						◎			情報を生かした産業	メディアの特徴を理解している。	83.9	87.5	-3.6
26	短答	◎						◎			情報を生かした産業	情報の発信と受信の注意点について理解している。	47.6	53.7	-6.1
27	選択		◎	◎				◎			情報を生かした産業	資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉え、判断している。	43.2	47.5	-4.3
28	短答	◎							◎		自然環境と国民生活	自然災害から生活を守る設備(防潮堤)について理解している。	69.2	75.8	-6.6
29	記述		◎	◎						◎	自然環境と国民生活	資料に着目して、森林の働きを捉え、表現している。	55.1	58.5	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子、(農水)農業や水産業、(工業)工業生産、(情報)産業と情報との関わり、(環境)国土の自然環境と国民生活

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
3	70.5	61.7	選択	8.8
問題の内容	世界の中の国土			
出題のねらい	北方領土の問題について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
16	87.3	82.6	短答	4.7
問題の内容	自動車をつくる工業			
出題のねらい	電気自動車について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
7	82.1	79.8	選択	2.3
問題の内容	日本の農業			
出題のねらい	都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、適切な地図を判断している。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「我が国の工業生産」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
10	36.2	48.5	選択	-12.3
問題の内容	日本の水産業			
出題のねらい	日本の漁業別生産量の変化の資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の食料生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の食料生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
17	56.6	74.4	選択	-17.8
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	日本の工業生産のさかんな地域について、資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の工業生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
18	55.9	67.9	短答	-12.0
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	太平洋ベルトについて理解している。			
授業改善の手立て	日本の工業生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			

こんな姿を
めざしたい!!



学習問題の解決に向けて 資料等を根拠に追究できる児童

課題の見られる設問 ⑥ (1)

【日本の工業生産】

- ①日本の工業生産のさかんな地域について、地図及び資料を読み取ることができているかを問う問題。
- ②太平洋ベルトについて理解しているかを問う問題。

分析と課題

- ・知識・技能の定着に課題が見られる。
基本的な用語や地図やグラフの読み取り等
- ・自動車工場の作業工程のような具体的知識に比べ、工業生産に関わる人々の努力や工夫、工業の概要等の概念的知識の定着や活用に課題が見られる。

課題改善のために...

- ・身に付けさせたい資質・能力の明確化
- ・見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施



5学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

授業改善の POINT

理解させたいことが明確ですか？

児童の疑問を引き出す工夫をしていますか？

理解させたいことにつながる学習問題を設定していますか？

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの「見方」を意識して

こんな
問いかけ
してみませんか？

自動車づくりについての学習問題を追究・解決することを通して

「工業生産に関わる人々」で、最低限理解させたいことは…学習指導要領で確認してみよう。

この自動車は、色や機能など選び方によって100種類以上の中から選ぶことができますよ。

第5学年 2内容(3)(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。

えっ！何でそんなに選べるようにしたのだろう？

そんなにたくさんの種類で間違えたりしないのかな？

誰がどうやってつくっているのかな？

今回は、「自動車づくりにたずさわる人」を取り上げて、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解させたいな。

自動車づくりにたずさわっている人々は、どのように自動車をつくって、私たちに届けているのだろう？

自動車会社はどのような自動車をつくろうとしているのだろう？

自動車工場で働く人々は、どのようにして正確に速く自動車をつくっているのだろう？

完成した自動車は、どのようにして私たちのところに届けられるのだろう？

追究場面で資料やICTを活用していますか？

消費者や社会のことを踏まえて、工夫や努力をしているのは自動車工場の人たちだけでしょうか？

輸送にたずさわる人々も消費者や社会のことを考えて、工夫や努力をしていたよな...

自動車だけでなく、工業生産に関わる人たちは、それぞれ工夫や努力をしているのかもしれないな。調べて確かめてみたい。

工業生産に関わる人々は…
・消費者の需要や社会の変化に対応している。
・優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をしている。
・工業生産を支えている。

教育課程実施状況調査 中学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
606人	29問	54.5	55.0	-0.5

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	53.4	53.0	0.4
	歴史	55.3	56.6	-1.3
観点	知識・技能	54.1	54.1	0.0
	思考・判断・表現	55.3	57.1	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	40.8	42.6	-1.8
解答形式	選択式	54.4	55.2	-0.8
	短答式	60.3	58.5	-1.8
	記述式	43.5	45.7	-2.2

設問別正答率											
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域		問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差
		知	思	態	地	歴					
1	選択	◎			◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の気候の特色について理解している。	87.3	84.3	3.0
2	短答	◎			◎			日本の地形の特色について理解している。	48.7	44.7	4.0
3	短答	◎			◎			日本の人口ピラミッドの変化について理解している。	84.5	86.1	－1.6
4	記述		◎	◎	◎			日本の産業の特色について、資料に着目して考察し、表現している。	40.9	45.7	－4.8
5	選択		◎		◎		日本の諸地域	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。	61.7	56.8	4.9
6	選択	◎			◎			九州地方の地形について理解している。	64.9	62.4	2.5
7	選択	◎			◎			東北、中部（北陸）地方でさかんな伝統産業や地場産業について理解している。	82.5	85.6	－3.1
8	選択	◎			◎			日本の各地方の工業の特色について理解している。	34.3	29.3	5.0
9	選択		◎	◎	◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の海上輸送と航空輸送の特色についての理解をもとに、資料に着目して考察している。	26.7	26.9	－0.2
10	選択	◎		◎	◎		地域調査の手法	地域調査の手法について理解している。	21.6	25.0	－3.4
11	選択	◎			◎			地形図を読み取っている。	54.8	55.9	－1.1
12	選択	◎		◎		◎	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ポルトガルによる新航路の開拓についての理解をもとに、資料を読み取っている。	38.9	42.1	－3.2

13	選択	◎			◎	ヨーロッパ人との出会い と全国統一	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。	41.9	34.9	7.0
14	短答	◎			◎		南蛮貿易について理解している。	59.2	61.1	-1.9
15	選択		◎		◎		織田信長の統一事業について、資料に着目して考察している。	86.0	90.0	-4.0
16	選択		◎		◎		豊臣秀吉の政策について、複数の資料をもとに考察している。	63.2	61.2	2.0
17	選択	◎			◎	江戸時代	金の含有量と物価変動について、複数の資料を読み取っている。	51.3	55.7	-4.4
18	短答	◎			◎		百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。	48.8	42.1	6.7
19	選択	◎			◎		欧米諸国の接近について理解している。	49.2	50.1	-0.9
20	選択	◎			◎		江戸幕府による政治改革について理解している。	53.6	56.9	-3.3
21	選択		◎	◎	◎	明治時代	尊王攘夷から倒幕への転換について、資料をもとに考察している。	49.8	54.1	-4.3
22	選択	◎			◎		殖産興業政策について理解している。	60.9	67.8	-6.9
23	選択		◎		◎		文明開化のもとで生まれた思想に関する資料をもとに考察している。	64.4	68.8	-4.4
24	選択	◎			◎		樺太・千島交換条約で確定した領土について理解している。	56.8	54.1	2.7
25	選択		◎		◎		明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。	59.0	64.3	-5.3
26	選択	◎		◎	◎		立憲制国家の仕組みについての理解をもとに、資料を読み取っている。	71.6	69.7	1.9
27	選択	◎		◎	◎	日本の地域的特色と地域区分	日本の産業の特色について、複数の資料を読み取っている。	40.6	41	-0.4
28	記述		◎	◎	◎	日本の諸地域	日本の各地方の産業について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	46.0	45.7	0.3
29	選択	◎		◎	◎	ヨーロッパ人との出会い と全国統一	近世・近代の歴史についての理解をもとに、複数の資料を読み取っている。	31.7	32.9	-1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(地理)地理、(歴史)歴史

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	41.9	34.9	選択	7.0
問題の内容	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
出題のねらい	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
18	48.8	42.1	短答	6.7
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
5	61.7	56.8	選択	4.9
問題の内容	日本の諸地域			
出題のねらい	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「地域調査の手法」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
10	21.6	25.0	選択	-3.4
問題の内容	地域調査の手法			
出題のねらい	地域調査の手法について理解している。			
授業改善の手立て	対象地域を学校周辺とし、学校所在地の事情を踏まえて、防災、人口の偏在、産業の変容、交通の発達などの事象から適切に主題を設定し、観察や調査を位置付け、様々な資料を的確に読み取ったり、地形図を有効に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を意図的・計画的に取り入れることが考えられる。その際に、「(3)日本の諸地域」における学校所在地を含む地域の学習や、「(4)地域の在り方」と結び付けて授業をデザインすることも考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	60.9	67.8	選択	-6.9
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	殖産興業政策について理解している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
25	59.0	64.3	選択	-5.3
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			

こんな姿を
めざしたい!!



課題を見つけ、その解決に向けて 知識・技能を活用し追究できる生徒

課題の見られる設問 ③ (1) (2)

- (1) 地域調査の手法に関連して、地域調査の手法について理解しているかを問う問題。
→調査したい内容に合致する資料内容を判断する問題。
- (2) 地域調査の手法に関連して、地形図を読み取っているかを問う問題。
→方位、等高線、地図記号等の基本的技能を総合的に活用する問題。

分析と課題

- ・経年的に課題が見られる領域である。
- ・(2)の地形図の読み取りに関する問題以上に、(1)の調査の手法に関する問題に課題が見られた。
- ・「基本的技能を「覚える」ことが目的になっていないか」また、「地域調査に関する目的が明確になっているのか」という視点から実践を振り返ることが考えられる。

課題改善のために...

課題追究・解決したりする活動を通して技能を身に付ける。また、身に付けた技能を継続的に活用する場面を位置付ける。



地理的分野の学習で...

日々の学習における改善・充実

授業改善の
POINT

こんな
問いかけ
していませんか？

これはどこでしょう？

学校所在地の
事情を踏まえて
いますか？

あっ学校の近くの〇〇川です。

そうですね。では、これはど
こでしょう？

どこだろう…。
氾濫しています。

実は、これは過去に氾濫
した時の〇〇川です。

そうなんだ…。でも、〇〇川が氾濫した
ところをみたことがないような…。

何か「備え」があるのではないかな！

適切な主題を
設定していま
すか？

学校周辺の地域では、河川の
氾濫にどのように備えている
のだろうか？

学校周辺の地域では、河川の氾濫にどのように
備えているのだろうか？

【調査の手順と方法の考察】

- ・調査計画を立て、調査を行う
- ①地形図から土地の特色を調べる
- ②ハザードマップから危険箇所を調べる
- ③地形の特長や防災に関する事象を観察する

調査の手法に
ついて活用場
面を設定して
いますか？

【調査結果の考察】

- ・地形と関連する危険箇所の傾向性を捉える。
- ・危険箇所と避難所の位置関係を捉える。

(4) 地域の在り方と関連付けて実践することも考えられる。

安全な避難経路が確保されているだろうか？
(防災に関する地域の課題を考える)

【まとめ方の考察】

- ・地形図に避難所と危険箇所についての情報、防災に
関する課題をまとめ、地形図を示しながら説明する。

調査の手法に
ついて継続し
て活用してい
ますか？

考察場面や発表場面において地理的・地域等のICT活用も考えられる。

(参考) 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説書

○社会科・地理分野の指導におけるICTの活用について

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html

教育課程実施状況調査 中学校 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
606人	32問	52.9	54.1	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	66.6	66.2	0.4
	読むこと	50.7	52.5	-1.8
	書くこと	42.7	44.5	-1.8
観点	知識・技能	60.2	61.8	-1.6
	思考・判断・表現	37.0	37.3	-0.3
	主体的に学習に取り組む態度	53.4	53.4	0.0
解答形式	選択式	60.6	61.4	-0.8
	短答式	51.6	54.6	-3.0
	記述式	27.2	28.1	-0.9

設問別正答率												
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域			問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	◎		◎	◎			リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(状況)	96.2	94.3	1.9
2	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(比較級・最上級)	89.4	89.8	-0.4
3	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(条件と行動)	72.3	71.4	0.9
4	選択	◎		◎	◎			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に应答することができる。(見てもいいかとたずねられて)	61.6	61.0	0.6
5	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に应答することができる。(Tシャツを母親に買ってもらったのかとたずねられて)	56.3	58.2	-1.9
6	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に应答することができる。(何をしたかとたずねられて)	67.8	67.7	0.1
7	選択	◎		◎	◎			リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の概要を聞き取ることができる。	78.5	79.9	-1.4
8	選択		◎	◎	◎			リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の要点を聞き取ることができる。	61.6	56.1	5.5
9	記述		◎	◎	◎			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	15.7	17.4	-1.7
10	選択	◎				◎		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(be動詞の過去の疑問文)	24.4	25.7	-1.3
11	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。(疑問詞when)	75.9	76.3	-0.4

12	選択	◎			◎	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(一般動詞過去の疑問文)	41.1	43.7	-2.6
13	選択	◎			◎		語形・語法を理解することができる。(疑問詞＋名詞で始まる疑問文)	48.2	54.7	-6.5
14	選択	◎			◎	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	76.4	77.9	-1.5
15	選択	◎			◎			71.1	77.8	-6.7
16	選択	◎			◎	さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	59.9	61.7	-1.8
17	選択	◎			◎			82.0	80.3	1.7
18	選択	◎			◎		対話の流れと資料から、適切な語(句)を判断することができる。	51.5	45.8	5.7
19	選択	◎			◎		対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	41.7	44.5	-2.8
20	選択	◎			◎	長文の読み取り	下線部thisが指す内容を把握することができる。	53.3	54.1	-0.8
21	選択	◎			◎		メールの内容から、適切な語句を選ぶことができる。	20.3	22.6	-2.3
22	選択	◎			◎		メールの内容を把握することができる。	43.1	46.8	-3.7
23	短答	◎			◎		メールの内容をふまえて、適切な語を補うことができる。	21.0	23.6	-2.6
24	短答	◎			◎	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(SVOOの文)	53.5	59.5	-6.0
25	短答	◎			◎		英文を正しい語順で書くことができる。(比較表現を含む疑問文)	41.1	45.9	-4.8
26	短答	◎			◎		英文を正しい語順で書くことができる。(don't have to ～の文)	71.3	71.9	-0.6
27	短答	◎			◎		英文を正しい語順で書くことができる。(as ～ as ...の文)	71.1	72.1	-1.0
28	記述	◎◎			◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。(whenを使って時をたずねる)	15.3	16.3	-1.0
29	記述	◎◎			◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。(相手がいちばん好きな季節をたずねる)	35.5	37.4	-1.9
30	記述	◎◎			◎	3文以上の英作文	部活動に対する自分の考えや意見を書くことができる。	26.7	30.0	-3.3
31	記述	◎◎			◎		自分の考えや意見の理由や説明を書くことができる。	41.9	40.5	1.4
32	記述	◎◎			◎		テーマにそって、3文以上の英文で書くことができる。	28.2	27.0	1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(聞)聞くこと、(読)読むこと、(書)書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
8	61.6	56.1	選択	5.5
問題の内容	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)			
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
17	82.0	80.3	選択	1.7
問題の内容	リーディング(さまざまな英文の読み取り)			
出題のねらい	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。(必要な情報を捉えることができる)			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
18	51.5	45.8	選択	5.7
問題の内容	リーディング(さまざまな英文の読み取り)			
出題のねらい	対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「読むこと」の言語活動における改善ポイントを提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	48.2	54.7	選択	-6.5
問題の内容	語形・語法の知識・理解			
出題のねらい	語形・語法を理解することができる。(There are ～.の疑問文)			
授業改善の手立て	「疑問詞＋名詞」で始まる疑問文の語順に関する設問は経年課題となっている。帯活動やSmall Talkを活用し、既習事項に繰り返し触れることを意識することが大切である。言語活動の際には、表現内容の適切さや英語使用の正確さを確認したり、適切にフィードバックを与えることを意識したい。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	43.1	46.8	選択	-3.7
問題の内容	リーディング(長文の読み取り)			
出題のねらい	メールの内容を把握することができる。			
授業改善の手立て	まとまりのある文章のあらすじを捉えることができるように、内容が理解できる文や語句を手掛かりとしながら、読み取りづらい部分も推測して読み進めていけるようにしたい。そのために、文章全体や段落ごとにタイトルをつけさせる活動や、物語を読みタイムラインなどで出来事を順に整理する活動、書き手が伝えたい部分に線を引かせる活動、要約文を書かせる活動などを行うことが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
30	26.7	30	記述	-3.3
問題の内容	3文以上の英作文			
出題のねらい	テーマに対する自分の考えや意見を、理由や説明とともに書くことができる。(目的・場面・状況に応じて書く)			
授業改善の手立て	テーマに対する自分の考えや意見を書くことに課題がある。普段の授業で、聞いたり読んだりしたことを、それだけにとどめずに、その内容について自分の考えを話したり書いたりする活動に取り組むことが大切である。例えば、教科書本文を読み、そこで取り上げられている題材に関して、書き手の主張をまとめたり、話題になっていることについてペアやグループで伝え合ったりすることで、自分の考えを整理して感想や意見を書くことにつながる。			

こんな姿を
めざしたい!!



まとまりのある文章から 概要や要点を読み取れる生徒

課題の見られる設問

8 (3)

- ・長文の読み取り問題。

→メールでのやり取りを読み、本文の内容に当てはまらない英文を選ぶ問題。

分析と課題

- ・まとまりのある文章を読んで、話の概要を理解する問題に課題が見られた。
- ・まとまりのある文章を読むときに、一語一語の意味や、一文一文の解釈にとらわれてしまうと、おおまかな流れの把握や書き手が伝えたいことを理解しづらくなる。

課題改善のために…

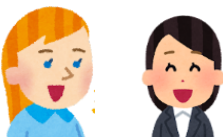
読む目的や言語活動の工夫により、文脈（場面や状況）や前後の語句を手掛かりに、推測して読み進める力を育てる。

日々の学習における改善・充実

読むことの活動で

読む前に

ALT とのやり取りでトピックについて予想させたり



JTE-ALT 間だけでなく、T-Ss のやり取りも意識しましょう。

トピックについて知っていることや、自分の考えをやり取りすることを通して、情報や考えなどを広げたりする活動に取り組む。



Small Talk を活用しましょう。

読む前に

読む目的を確認したり、発問により読むポイントを意識したりする。



Today, we are going to talk about this article with our ALT.

What does the writer want to tell us?

We are going to make a video to tell about the article.

読みながら

まずは、目的をもって「読むこと」に自力で取り組ませる。
読みながら、必要に応じて単語等の指導を行う。



授業改善の POINT

読みながら



volunteer?

読み方はどうかな?

ボ...ラン...テ?
あ! ボランティア?



似ている言葉はない?
コレク...ショ...

コレクション?
収集?

この単語がわかれば...

collect?
コレクト?

※単語等の指導のタイミングは様々だが、読む目的を設定することで、読みながら、生徒の「知りたい」を引き出すことができる。発音や派生語から考えたり、使われている文脈から推測したりするよう促す。

読んだあとに



読んだことについて、伝えあったり、発表したりする活動を設定することで、目的をもって読むことができ、読むポイントもはっきりする。

テキストに応じて

テキストの種類に応じて、いろいろな読み方に取り組む。例えば…

- ・時系列で書かれた文章→ タイムラインをつくる、イラストの並び替え
- ・エッセイや物語→ 段落ごとにタイトルをつける
- ・意見文や説明文→ 図表を埋める（キーワードを埋める）など

- ・読む前に、既習事項や情報、自分の考えなどを活性化させる活動を取り入れる。
- ・テキストの種類によって、読む目的や言語活動の設定を工夫する。